



アジェンダ[®] MC

シロアリ防除専用 土壌処理剤

業務用

成分 フィプロニル・・・・・・・・・・・・・2.0%
〔5-アミノ-1-(2,6-ジクロロ-4-
トリフルオロメチルフェニル)-3-
シアノ-4-トリフルオロメチル
スルフィニルピラゾール〕

性状 類白色粘稠懸濁液体

⑯はバイエルグループの登録商標
第4826469号

12入

製造

バイエル クロップサイエンス株式会社
エンバイロサイエンス事業部
本 社 東京都千代田区丸の内1-6-5

お客様相談室 ☎0120-575-078
(9:00～12:00、13:00～17:00 土・日・祝日を除く)



使用方法

〔用法・用量〕

本剤はよく振り混ぜてから、下記の希釈表に従い、水で所定の倍率に希釈し、散布してください。希釈液は使用の都度、十分攪拌し、その日のうちに使用してください。(公社)日本しろアリ対策協会編 防除施工標準仕様書に従って使用してください。

●床下がコンクリート打設面の場合

	散布量 (ℓ/m ²)	希釈倍率	説 明
面状散布	1ℓ	33	アジェンダMC1ℓを水32ℓに希釈する
	3ℓ	100	アジェンダMC1ℓを水99ℓに希釈する
帯状散布	1.7ℓ	33	アジェンダMC1ℓを水32ℓに希釈する
	5ℓ	100	アジェンダMC1ℓを水99ℓに希釈する

●土壌処理の場合

	散布量 (ℓ/m ²)	希釈倍率	説 明
面状散布	3ℓ	100	アジェンダMC1ℓを水99ℓに希釈する
	5ℓ		

良く振ってからお使いください。

使用上の注意

〔使用に際しての注意事項〕

- 使用前に必ずラベルをよく読み、十分理解した上で使用してください。
- 施工箇所(床下)と居住空間との間に空気の流れがある構造の建物の場合(空気循環式等)、処理は行わないようにしてください。
- 使用する処理方法、処理薬剤については、日本しろアリ対策協会の安全管理基準に従い、事前に居住者への説明を行い、了承を得てください。
- 施工現場の近隣にも事前に、その旨を通知し、十分な配慮を行ってください。
- 定められた用法及び使用量を厳守して使用してください。間違った使い方をすると、効力不足や健康を害することがあります。
- 環境を汚染しないよう乱用を避けてください。池、井戸、地下水等を汚染するおそれのある場所、蜜蜂、蚕(繭)、水生生物等に被害を及ぼすおそれのある場所では使用しないでください。
- 食料貯蔵庫は薬剤がはね掛らないようにして、均一よく攪拌し、手や目で直接かき混ぜるようなことはしないでください。希釈用の容器は専用のものとし、他とは兼用しないでください。
- 使用に際しては、必要量だけを取って調製し、その都度使用し切ってください。
- 本剤は他の薬剤と混合したり、加熱したりしないでください。
- 薬剤によっては、アレルギー症状やカサカサ等を起こしやすい特異体質の人、また健康状態の思わしくない人、妊産婦や高齢の住民に、病人、特異体質者(アレルギーや化学物質に過敏な体質等)、妊娠婦、乳幼児等が居る場合には、薬剤の影響が出ないようあらかじめ関係業者やかかりつけの医師と相談してもらふなど、十分に配慮してください。
- 散布が終了するまでの間は、居住者が薬剤にはく属されないよう細心の注意を払い、急のため薬剤の影響のない部屋や階上の部屋等で過ごしてもらふようにしてください。
- 食品、食器、飲料、玩具、寝具、衣類、遊玩動物、観魚、植物、貴重品、美術品、楽器、電気製品等ではあらかじめ他へ移すか、あるいは格別し、薬剤がつかないようにしてください。
- 散布中は、薬剤が床下進入口のある部屋に立ち入らないための措置を取ってください。
- 散布中の薬剤の室内への飛散をできるだけ防ぐための措置を取ってください(例：薬剤による室内汚染を防ぐための養生、床下進入口ビニールシートや養生等による封鎖等)
- 散布中は、薬剤が他の部屋に飛散しないように、床下進入口のある部屋の開口部(ドア、引き戸、窓等)は閉じ、カーテンシート等で必要養生をしてください。また、床下からの室内への空気流入を防ぐために換気扇は使用しないでください。
- 散布終了後は最低1時間、十分に換気を行い、その間居住者は床下進入口のある部屋へは入らないようにしてください。
- 枯木や植栽などの植物にかかると枯れる等の被害が出るおそれがあるので、屋外での使用や風によるドリフ

ト(飛散)等により、薬剤が植物にかからないよう、あらかじめ養生を行うか、移動させるなど、十分に注意して使用してください。

〔使用中又は使用後の注意事項〕

- 本剤の原液は石材類、木材類、金属類、記録類、ガス管、水道管(硬質塩化ビニル)、畳、床材(塩化ビニル)、断熱材等に付着した場合は着色、変色又は変形する場合があり、また本剤の希釈液は塩化ビニル等に付着した場合には着色するものもありますので、置く等の措置をし、薬剤がつかないようにしてください。
- 使用に際しては、適切な保護具を必ず着用し、身体への露出部分を少なくして薬剤を浴びないよう、また吸入しないようにしてください。推奨の保護具性能は以下のとおりです。



- 防護マスク(JIS TB152 DS2：集塵率95%以上の規格又は同等以上)
- ゴーグル型メガネ(JIS TB147：ゴーグル型又は同等以上)
- 不透過性手袋(JIS TB116：防水機能を有する不透過性又は同等以上)
- 長袖の不透過性防除衣(防水機能を持つもの)
- 保護具および使用する機械器具類は、あらかじめよく点検確認しておいてください。
- 散布機等の圧力は、薬剤が不必要に広がらないように注意して調整してください。また、風の強い場所での使用は避けてください。
- 床下等、風通しの悪い空間で作業する場合には、ばく菌に注意して、長時間の連続した作業は避けてください。
- 薬剤の調製、散布中は喫煙、飲食をしないでください。また、使用中または使用後にトイレに行くときは、手や顔をよく洗ってから行ってください。
- 薬剤が皮膚に付いた時は、直ちに石けんと水でよく洗ってください。万一、薬剤が眼、口などに入った場合には直ちに水でよく洗い流してください。作業中に大量の薬剤を浴びた場合は、直ちに汚染した衣類を脱ぎ、シャワーを浴びる等して、体に付着した薬剤を洗い落とし、清潔な衣類に着替えてください。また、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 作業終了後は、直ちに石けんと水で手や顔をよく洗い、うがいをしてください。また、衣類は清潔なものに着替えてください。
- 一日の作業終了後は、必ず入浴またはシャワーで身体をきれいに洗ってください。特に毛髪・顔・手足等の露出部分は入浴に当たってください。
- 万一、誤って薬剤を飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の診察を受けてください。また、薬剤の使用により、身体に異常を感じた場合には直ちに使用を中止し、清潔な空気のある場所で安静にして、速やかに医師の診察を受けてください。医師の診察を受ける際には、使用薬剤名(アジェンダMC)、有効成分名(フィプロニル)、症状、経緯状況等について出来るだけ詳細に医師へ告げてください。また、吐物や気管吸入しないように心身の注意を払ふようにしてください。動物実験ではフィプロニルピラール製剤の投与が有効であると報告されています。
- 作業時の衣類は、他の衣類と別けて洗濯し、保護具も洗濯でよく洗ってください。希釈や薬剤処理に用いた機械器具類もよく洗ってください。
- 使用済みの空容器は水又は石けん水等でよく洗い、小児が触れないようにするとともに、他に転用しないでください。汚染した器物や衣類等は、作業現場から持ち帰り、処分にあたっては、自治体の条例や指導に従って処分してください。決して、河川、湖沼、下水道等の水系や地下水を汚染するおそれのある場所には捨ててはいけません。
- 使用中に、周辺に被害を及ぼす可能性のある事故が発生した時は、直ちに関係機関に連絡してください。
- 文化財虫害予防対策等として使用する場合は、上記の使用上の注意に加え、以下の点に十分注意してください。

- 公益財団法人文化財虫害研究所認定申請時の指定濃度で使用してください(水で100倍希釈)。
- 文化財に被害が生じないように十分留意して、文化財展示保存施設等の土壌処理として使用してください。

警 告

<危険有害性情報>

H371 臓器(神経系)の障害のおそれ

H373 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器(神経系)の障害のおそれ

H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

製造番号



(公社)日本木材保存協会
認定番号 A-4239
(公社)日本しろアリ対策協会
登録番号 第3509号
(公財)文化財虫害研究所
文化財虫害防除薬剤 登録番号 第34号

〔保管上の注意事項〕

- 使用後に残った薬剤原液は、ラベル表示のある元の容器に密栓し、食品、食器、飼料等のものと区別して保管してください。また、一度開封したものはできる限り早く使い切ってください。
- 本剤は小児の手の届かない處のかかる直射日光や雨水が当たらない乾燥した涼しい場所に保管してください。
- 5℃以下で凍結することがあるため、保管場所に注意してください。薬剤が万一凍結した場合、20℃程度の温度下に放置し、自然解凍させた後、製剤容器をよく振って使用してください。解凍を急ぐ場合は、容器を沸き湯に入れて60℃程度の温水につけ、半日以上放置し、完全に解凍させた後、製剤容器をよく振って使用してください。なお、希釈の際にはお湯は使用しないでください。
- 〔その他の注意事項〕
- 使用に際して、不明な点、事故等が生じた場合はお客様相談室(0120-575-078)へご連絡ください。
- 購入した薬剤は速やかにお使いください。
- 廃棄する場合、内容物、容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託してください。
- 火災時は、適切な保護具を着用し消火剤等で消火に努めてください。
- 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
- 漏洩等の事故が発生した場合には、保健所、消防署又は警察署に直ちに届け出るとともに、必要な応急の措置を講じてください。また、盗難・紛失事故が発生した場合には、直ちに警察署に届け出てください。薬剤が漏洩した場合には次のように処置してください。
- ①保護員を着用し、吸収性の媒体、例えば砂、軽石、ホホ布、オガクズ等に吸着させ、広がりを阻止して回収してください。
- ②漏洩した薬剤が井戸、河、池などの水系に流入した場合は、直ちに警察署・保健所等関係機関に報告してください。
- 体調の悪いときは、飲酒等を取り扱い及び作業をしないでください。
- 本ラベル記載事項を含め、薬剤を安全に使用するのに、(公社)日本しろアリ対策協会「しろアリ防除施工における安全管理基準」に従い、作業を行ってください。

本剤のラベル記載事項を守らずに生じた事故・その他被害への責任は、当社では負いかねます。

空容器の転用は禁止／飲めません

中毒時の緊急連絡先

中毒時の緊急連絡先 (公財)日本中毒情報センター	
大 阪 中毒110番	072-727-2499 24 時 間 対 応
つ づ け 中 毒110番	029-852-9999 9時～21時対応

JP80200722C

Bayer